

学校教育目標

明日の日本のが育つ



最上位目標

「自分で考え、うごく」子ども

わが井上にのびゆく われら

いつも胸には進取の気象

よく考えてやりぬく誇

つなぐ

もとめる

やりぬく

地域とつながり、
お互いに認め合い
仲間になれる子ども



友と協働して考え
豊かな発想で
探究する子ども



元気よく身体と心を
動かし、こつこつと
最後までやりぬく子ども



地域・自然を感じ、
学びと実生活を結びつける

あいさつきラリ

○クラスでつながる

クラスの友だちとあいさつ

○みんなとつながる

全校縦割り「なかよし班」や姉妹「ほかほか学級」の活動であいさつ

○地域・社会とつながる

集団登校での地域の方へのあいさつ
地域や各園との交流・あいさつ
地域とつながることで、持続可能な
社会の一員としての自覚の育成



ICT・クラウドを活用した協
働的な学びの構築

楽しくICT

○個別最適な学びと協働的な学びの両立

- ・みんなで探究
- ・自分一人で探究

○課題解決に向けて、学んだことを活かし

追究方法をもとめる

- ・子ども自身が解決方法を選択し、解決を通じて獲得した力を自覚できる授業
- ・ICTを活用した学習者主体の授業づくり (Inoue-GIGAスクール)



自分に自信を持ち、元気に明るく生活できるための環境づくり

体と心でジャンプ

○元気に明るく体を動かす

体力づくりや外遊び「We can 元気！」に取り組む

- ・体力向上甸間、スポーツ祭り



○本と出会って心を動かす

週1の読書の時間を有効活用して
「すざか子ども読書ちゃれんじ」

○食育で心も体も健康に

栄養教諭（給食センター）との連携

チーム井上

井上地区の子どもに関わるすべてのひと・もの・ことでつながり支えあうチーム井上

＜教育環境づくり＞



- 全ての子どもたちに学びの場のある教育環境を整えます。
- MIM等の活用など、子どもの実態に即したよりよい学習環境を整えます。
- 家庭と情報共有する教育相談の充実を図り、関係機関との連携強化とともにチーム支援を行います。
- お互いに尊重し合う人権教育を進めると共に、失敗しても大丈夫だと思える環境づくりを進めます。



※「わくわくカリキュラム」=生活科・総合的な学習を核にし、各教科との関連を工夫した学習指導計画

＜学力向上プラン＞

- ICTをツールとし、主体的・協働的な質の高い学びの提供をめざすとともに、個別最適な授業づくりに取り組みます。
- 「わくわくカリキュラム」を更新しながら、実生活に生きる学力を育みます。
- ICTを活用した家庭学習のあり方を検討し進めます。
- 墨坂中学校区での小中連携をさらに進め、中学校区グランドデザインをもとに、学びの質と生活の質の向上を図ります。



＜家庭・地域との連携・協働＞

- 学校運営委員会を中心に、地域作り推進委員会等地域・家庭と積極的につながり、子どもたちを見守り共に育てることができるよう取り組みます。
(地域ボランティア募集の推進、協力・活用)
- ICTを活用して最新の情報を発信し、家庭・地域に学校を開きます。(オンライン発信、ホームページ等)



＜職員の協働＞

- 定期的に「職員研修」を実施し、対話を通して、教職員として児童理解と指導力向上を図ります。
- 特別支援コーディネーターを中心に、関係機関とも連携し、子ども一人ひとりの教育的ニーズに「チーム」で寄り添います。
- 月1回「非違行為防止研修」に取り組み、綱紀保持に努めます。

＜各園（保育園・幼稚園等）との協働＞

- 各園と連携し、学びの基盤として非認知能力の育成を継続します。

すべてのベースとなるもの

- ◎一人ひとりの子どもを関わる全員でみる。
- ◎子どもが失敗する権利を最大限尊重する。(教えすぎない、手をかけすぎない)

【経営の理念】対話する学校（聴くことから）

- ◎児童理解（行動の裏にある背景まで理解を深める）